

プログラム名	焼き板作り		時間	2～3時間
ねらい	1 豊かな創造性を養うとともに、手作りの喜びを味わう。 2 少年自然の家での活動の思い出とする。			
内容	スギ板を焼いて、自分の思う絵や字をアクリル絵の具で描いて作品を製作する活動			
対象	小学生以上	活動形態	個人	
活動可能人数	100名程度	料金	1人350円	
団体で準備する物	個人・・・軍手、マスク、新聞紙			
自然の家で準備できる物	スギ板、ひも、ヒートン、アクリル絵の具用品一式、雑巾、たわし、布、火ばさみ、薪、きり、雑巾			
活動の流れ	<p>1 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定された場所に集合（入所時に確認） ・参加人員と健康状態の把握 <p>2 事前指導【自然の家職員 約15分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の準備 ※事前に職員が薪の火おこしをしておく→開始後は指導者が管理 ・説明および諸注意 実施方法、安全、マナー 等 <p>3 活動</p> <p>①各自スギ板と火ばさみを受け取り板全体を平均して真っ黒に焼く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○片面だけの焼きすぎに注意する ○かまど数は限られているので1かまどに6～8人ずつ順に焼いていく <p>②焼いた板を地面に置き、たわしで板の炭を落とす</p> <ul style="list-style-type: none"> ○灰が舞うのでマスクをするとよい <p>③乾いた布で表面をみがく</p> <p>④きりで軽く二か所に穴を開け、ヒートンを押しながら回しつける</p> <p>⑤板の焼き面を残しながら好きな絵や字をアクリル絵の具で描く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクリル絵の具は色塗りに水を使用しない ○机には必ず新聞を敷くこと ○絵の具ケースの色が混ざらないよう使用する ○一色ずつ乾かしながら色塗りをすると良い <p>⑥ひもをつけて所定の場所に吊るし乾かす</p> <p>⑦片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アクリル絵の具のふた閉めの確認、筆の洗い確認は各団体の責任で行う ○机は雑巾で拭き、周辺の絵の具の汚れ等ないか確認する ○使用したものは一か所にまとめる <p>4 事後指導（各団体 約5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員確認および借用物の確認と返納 		 	
留意点	<p>1 板は、裏表が同じように焼けるようにまめに返す</p> <p>2 焼きすぎないように気をつける</p> <p>3 焼いた板は他のものに炭の汚れが移らないように、たわしや布でよくみがく</p> <p>4 火を扱うので、ヤケドに注意する</p> <p>5 創作活動であるため、十分な時間の確保が必要</p>			
引率者の役割	薪の補充・管理、用具の管理、制作指導			